

第35回 群馬周産期研究会総会

日時：令和元年 9月21日(土曜日) 14:30～

場所：群馬大学大学院医学系研究科内

基礎大講堂（基礎講義棟 2階）

群馬県 前橋市 昭和町 3-39-22

PROGRAM

プログラム

研究会年会費(総会参加費含)：1,000円

- 日本産科婦人科学会単位、日本専門医機構認定学術集会参加単位に指定されております
- 日本産婦人科医会会員には、研修シールが配布されます
- 日本周産期・新生児医学会 周産期専門医には更新2単位(加えて筆頭演者に2単位)、および一般講演筆頭演者には受験用10単位が交付されます
- 日本医師会生涯教育講座に指定されております(1単位)
カリキュラムコード 4. 医者・患者関係・コミュニケーション(0.5単位) 72. 成長・発達の障害(0.5単位)
- 特別講演は日本専門医機構認定産婦人科領域講習受講単位に指定されております
※当日は、e医学会カードにて受付をいたしますので、会員専用ページ登録をお済ませになったe医学会カードを必ずお持ちください
- 特別講演は日本小児科学会 小児科領域講習に認定されています。参加者には受講証を配布いたします

事務局：群馬大学医学部附属病院周産母子センター

〒371-8511 群馬県 前橋市 昭和町 3-39-22

027-220-8436 (産婦人科病棟)

027-220-8211 (NICU病棟)

共催：群馬周産期研究会 / 群馬県医師会

1. 開会のご挨拶 (14:30～14:35)

群馬大学大学院 医学系研究科 産科婦人科学教授 岩瀬 明先生

2. 一般演題 (14:35～15:30) <発表8分：質疑応答3分>

座長：桐生厚生総合病院小児科部長 大木 康史先生

- 1) 初期研修医に対する J-CIMELS 講習会の取り組み
利根中央病院産婦人科¹⁾、利根中央病院 6A 病棟²⁾、前橋協立病院³⁾
西出麻美¹⁾、鈴木陽介¹⁾、立木歌織²⁾、丸山梓¹⁾、白石知己³⁾、糸賀俊一¹⁾
- 2) 新生児蘇生法のシミュレーションの有用性と今後の課題
桐生厚生総合病院 NICU
阿左美まゆ美、小林葉子
- 3) 当院における未熟児動脈管開存症に対するイブプロフェンの治療経験
群馬県立小児医療センター新生児科
小泉亜矢、丸山憲一、福田一代、市之宮健二、山崎優、鏑木浩太、本間春奈¹⁾
- 4) 当院における羊水染色体検査の検討
群馬県立小児医療センター産科
佐藤達也、道崎護、田中亜由子、木暮さやか
- 5) 当院で経験した胎児性分化疾患の2例
群馬県立小児医療センター産科
道崎護、田中亜由子、木暮さやか、佐藤達也

3. 群馬周産期研究会総会 (15:30～15:50)

～休憩～ (15:50～16:00)

4. 特別講演（16:00～17:00）

座長：群馬大学大学院 医学系研究科 小児科学教授

荒川 浩一先生

演題：「周産期遺伝医療を通じた包括的な家族支援」

～IRUD 拠点病院の経験から～

講師：東京都立小児総合医療センター臨床遺伝科

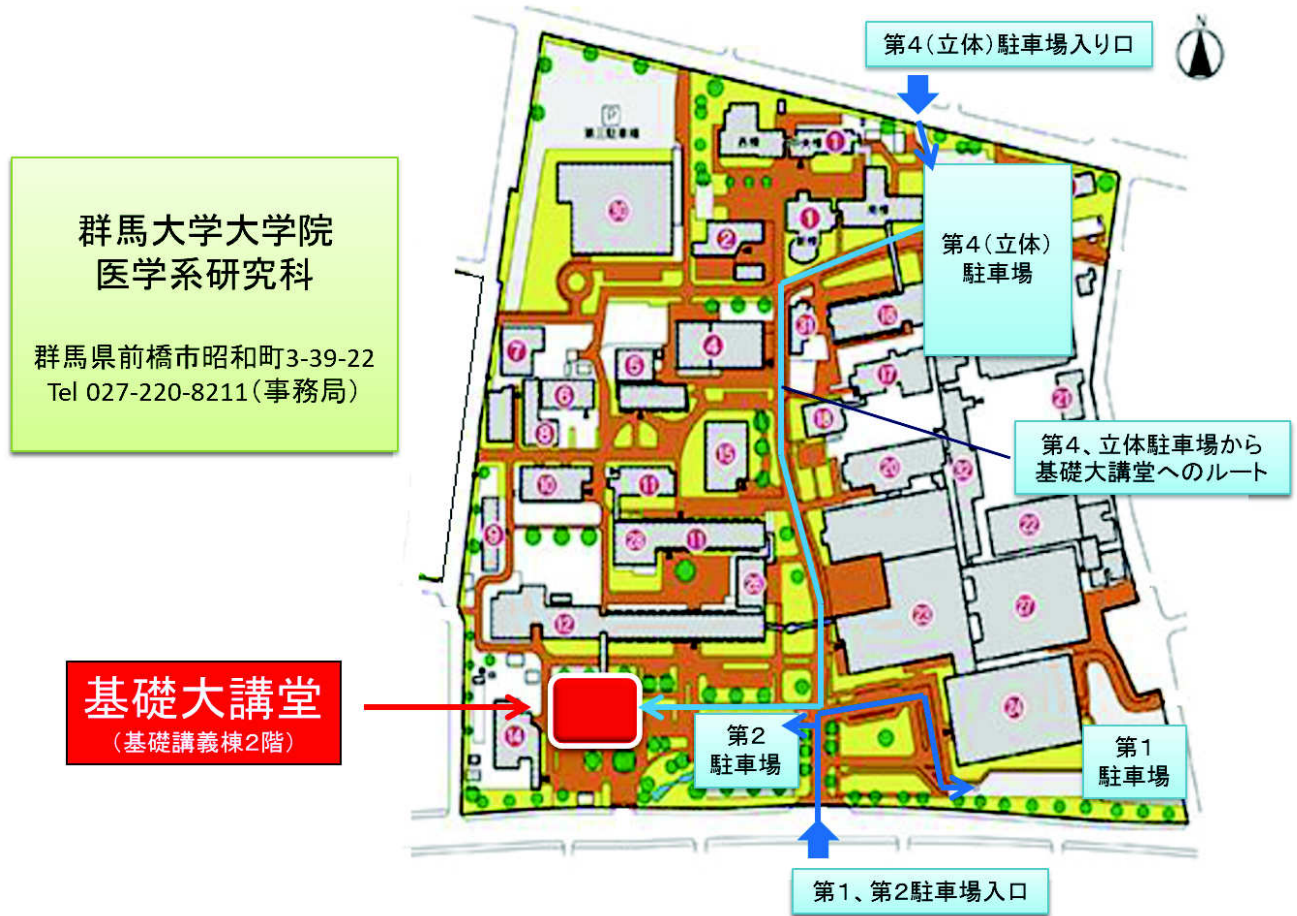
吉橋 博史 先生

5. 閉会のご挨拶

群馬大学大学院 医学系研究科 小児科学教授

荒川 浩一先生

《会場のご案内》



※ お車でお越しの際、駐車場代は個人負担となります。

◆ 電車をご利用の場合は、下記のバスをご参考ください。

乗車位置	行き先案内表示	下車停留所	所要時間	備考
JR前橋駅 北口	<ul style="list-style-type: none"> ・ 群大病院行 ・ 群大病院經由南橋団地行 	群大病院	約15分	関越交通バス
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 群馬大学荒牧經由渋川行 ・ 群馬大学荒牧經由渋川市内循環渋川駅行 ・ 渋川市内循環渋川駅行 ・ 小児医療センター行 	群大病院入口	約13分+ 徒歩6分	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 群馬総社駅行 	群大病院	約15分	日本中央バス
JR新前橋駅 東口	<ul style="list-style-type: none"> ・ 群大病院・群馬大学荒牧經由総合スポーツセンター行 ・ 群大病院經由群馬大学荒牧行 	群大病院	約21分	関越交通バス
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合スポーツセンター行 ・ 群馬大学荒牧行 	群大病院入口	約17分+ 徒歩6分	